

平成25年度 第2回鎌ヶ谷市消防委員会会議録

1 議題

- 議案1 平成25年度事務事業進捗状況について
- 議案2 平成26年度予算(案)の概要及び事務事業について
- 議案3 その他

2 開催日時

平成26年2月4日(火曜日) 10時00分から11時30分

3 開催場所

消防本部1階会議室

4 出席者

- (1) 委員 鈴木定夫委員(委員長) 長瀬正久委員(副委員長)
廣部信隆委員 阿部万里亜委員
若槻恵子委員 山田静雄委員
- (2) 事務局 渋谷誠幸消防団長 川島正二郎消防長
皆川宏幸次長(事)消防総務課長
栗原 豊予防課長 松本禎久警防課長
相川 昇予防課主幹
松下晃通庶務係長 湯浅貴朗主任消防主事

5 会議の公開 非公開について

公開

傍聴者 なし

6 発言の要旨

- 消防総務課長 委員会条例第5条による会議成立を報告、傍聴の申し出がなかったことを報告した。
- 消防長 平成25年度第2回消防委員会会議開会を宣言し、鈴木委員長に挨拶を求めた。
- 鈴木委員長 挨拶
- 消防長 挨拶
- 消防総務課長 委員会条例第5条の定めにより委員長が議長を務める事を伝えた。また、会議録署名人は、申し合わせにより、山田委員と若槻委員の2名で、任期中は継続となっていることを伝えた。
議長へ進行をお願いした。
- 鈴木議長
事務局 議案1平成25年度事業進捗状況について説明を求めた。
議案1平成25年度事務事業進捗状況について、職員研修、火災予防、救急救命、消防団、施設等について説明した。
- 鈴木議長
事務局 議案2平成26年度予算(案)の概要及び事務事業について説明を求めた。
議案2平成26年度予算(案)の概要及び事務事業について、常備消防費として一般人件費、消防事務に要する経費、消防庁舎の管理運営に要する経費、職員研修に要する経費、予防業務に要する経費、警防業務に要する経費、大規模災害応援に要する経費、非常備消防費として消防団運営に要する経費、消防施設費として消防車両更新事業、くぬぎ山消防署建替事業、消防本部庁舎建替事業の内容を説明した。
なお、平成26年度予算(案)は議会議決前の要求額であり、決定されていないことを申し添えた。
また、最近3カ年の火災状況、最近3カ年の救急出動件数、平成25年傷病程度別搬送人数の説明をした。
- 鈴木議長
長瀬副委員長 各委員に質問を求めた。
資料2ページに記載されている、防火対象物・危険物施設関係図書電子データ整備事業の内容についての説明を求めた。
- 予防課長 平成25年度千葉県緊急雇用創出事業の補助金を受けまして、平成25年8月から平成26年2月末まで17名を雇用している事業です。
内容は消防本部及び各消防署で保管しているショッピングセンターやマンション、ガソリンスタンドなどの図面や各種届出の紙ベースの台帳を経年劣化しないようにスキャナー、パソコンを使用してサーバーに取り込みデータ化して消防本部、各消防署にて使用し業務の効率化を図るものです。
事業費は2,835万円です。
- 阿部委員 資料1ページ秋季全国火災予防運動の中で、消防広場で音楽隊が出演していたと思うが、音楽隊の構成と年間の出演回数について説明を求めた。

- 消防総務課長 鎌ケ谷市消防音楽隊は、昭和55年5月に消防職員28名で発足し、市の財政事情や職員の業務負担の見直しから平成19年12月22日に市民協働音楽隊（鎌ケ谷市ファイアーフレンズ）に移行して、現在33年8か月を経過したところです。
- 音楽隊の目的は、吹奏楽を通して鎌ケ谷市の音楽文化の向上と火災予防の普及啓発を図るものです。
- 音楽隊構成は原則として鎌ケ谷市に在住あるいは在勤し、吹奏楽を愛好する者で構成されています。現在、消防職員7名、市民愛好家29名の合計36名が隊員として登録しています。
- 出演回数は、年7回程の出演です。平成25年度実績は1月・消防出初式、2月・建国祭、4月・南部公民館ファミリーコンサート、9月・南初富自治会敬老会、11月・しんかま秋まつり及び消防広場・関東学童軟式野球秋季大会、12月・鎌ケ谷駅前広場クリスマスイベントの出演でした。
- 若槻委員 資料11ページの最近3カ年の救急出動件数の中で平成25年は昨年比500件以上増加となっていますが、その原因について伺います。また、急激な増加に対して、どのように対応しているのか説明を求めた。
- 警防課長 救急出動件数の増加要因は、主に高齢者の救急事案増加が挙げられます。
- 救急搬送された高齢者の搬送人員が平成24年と比較すると349名増加し、搬送された方の55%が高齢者となっています。また、急激な救急件数の増加に対する対応ですが、本市は救急車4台で運用していますが、そのうちの1台を消防車と乗り替わりの兼任隊員で、3台出動した次の救急隊として4台を運用していましたが、昨年11月から専任隊員の4台運用を開始し、出動件数の多い中央消防署に2台を配置して現場到着時間の短縮に努めています。
- 廣部委員 資料10ページの最近3カ年の火災状況の中で、火災原因等詳細について説明を求めた。
- 予防課長 平成25年中の出火件数は24件で内訳は、建物火災13件、車両火災3件、その他火災8件、死者1名でした。主な出火原因は、放火、放火の疑い、火遊び、たばこがそれぞれ3件、マッチ・ライターが2件でした。全国の平成24年中の主な出火原因でも放火が16年連続で1位であり、以下たばこ、こんろ、放火の疑いの順となっています。
- 山田委員 資料4ページの消防本部庁舎建替事業の概要に工事は2カ年で実施とありますが、工期の終了時期はいつなのか。また、くぬぎ山消防署庁舎についても工期の終了時期はいつなのか質問された。
- 消防総務課長 消防本部庁舎について説明します。建物概要は、鉄筋コンクリート造4階と塔屋、延床面積1,741.33㎡です。

工事のスケジュールですが、平成26年2月に既存の訓練塔、車庫棟等を解体撤去します。平成26年4月に庁舎基礎工事を開始、平成26年12月に本体工事完了予定です。平成27年1月に本部機能を移転して、その後、現消防本部庁舎を解体撤去した跡地に、車庫、倉庫、雨水調整槽を設置して、平成27年10月に全ての事業が完了する予定です。

次に、くぬぎ山消防署庁舎について説明します。建物概要は、鉄骨造2階と塔屋、延床面積637.47㎡です。

工事のスケジュールですが、平成26年2月に工事請負契約の仮契約を締結し、平成26年3月定例会に工事請負契約本契約の締結承認を上程して、平成26年4月に建替工事開始、平成27年1月に建替工事完了予定です。その後、現くぬぎ山消防署庁舎を解体撤去して平成27年7月に全ての事業が完了する予定です。

鈴木議長
事務局

議案3その他について説明を求めた。

平成26年度第1回消防委員会開催時の時間について平成26年7月上旬の予定であり、詳細については別途連絡する旨、連絡した。

警防課長

消防委員会の参加する消防団行事（消防団辞令交付式：平成26年4月5日（土）、消防本部1F会議室にて9時から開式）について連絡した。

鈴木議長

議案、質問等が無く会議閉会を宣言した。

7 会議録署名人の署名

以上会議経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成26年4月15日

氏名 山田 静雄

氏名 若槻 恵子